

豊橋市図書館「知の伝道師」リレー講座

No.5 金原賢治

「日本のすみれ」

ブックリスト

講師が20年以上にわたり、葦毛湿原等で観察してきたデータを紹介しながら、日本のすみれの基礎知識や楽しみ方を紹介します。

豊橋市図書館で所蔵している本を「★」、所蔵がない本は「▲」としています。

【日本のすみれ】

No.	書名					内容紹介
	著者	出版社	出版年	請求記号	資料No.	
1 ★ (向山)	すみれ world					日本のすみれ100余種を網羅。よく見かける野原のすみれから高山に咲くすみれ、珍しいすみれまで、姿だけでなく花や葉などの細部の写真、分布状況、雑種やその観察記録なども収録する。
花野 一明	東京図書出版	2021.9	479.8/ス/	225352723		
2 ★ (まちなか)	日本のすみれ探訪					どこで会えるのか。いつ訪ねれば咲いているのか。半世紀をかけて167種のすみれと逢瀬をとげたすみれ研究の第一人者が、忘れえぬ花たちを厳選し、出会いのエピソードとともに紹介する。内城葉子による植物画も掲載。
山田 隆彦	太郎次郎社エディタス	2019.11	479.8/ニ/	620546135		
3 ★ (向山・大清水)	すみれハンドブック					北海道から南西諸島、どこにでも生えているすみれ。日本に自生するすみれ全種と、ほぼすべての亜種・変種、見ておきたい品種など、計107種類を掲載し、すみれ各部の名称と用語、すみれの見分け方などを解説する。
山田 隆彦	文一総合出版	2010.3	479/ス/	223999293 520104555		

4 ★ (中央・ 大清水)	日本のスマレ (シリーズ 山溪ハンディ図鑑)					日本に自生する地上茎のあるスマレ7種、地上茎のないスマレ109種、交雑種196種のスマレを網羅。ロングから超アップまでの1100枚あまりの写真とわかりやすい解説で徹底紹介。いがり氏は豊橋在住の写真家で日本すみれ同好会にも所属していたことがあり、写真が素晴らしい。(96年初版の増補改訂)
	いがり まさし	山と溪谷社	2004.3	479/ニ/	125086041 124669516 520621814	
5 ★ (中央)	日本のスマレ					スマレの形質・分布について記載されている。筆者の学術的研究の集大成である。形質に関する記載方法は、主に白黒写真と文章でその特徴が記載されているだけなので、初心者には判断しづらい。 ただし、日本のスマレ研究のあゆみについては他の文献には無いので注目に値する。
	橋本 保	誠文堂新光社	1970	479/5/	100968551	
6 ▲	原色日本のスマレ					日本各地のスマレを観察し、その生態・形質を分類した日本のスマレのバイブルである。交配種を含め153種類のスマレの花、茎、根、種の形状を原色で詳細に記録している。発見場所、日付、発見者の名前等が記載されている。また、山野草の中で最も栽培が難しいと言われるスマレの増やし方も記載されている。
	浜 栄助	誠文堂新光社	2002.7			
7 ▲	すみれ図鑑—すみれ265品種と育て方					日本に野生しているすみれの自然状態で咲いている写真を中心に、栽培種(選別品種、交配種、外国種)については栽培状態の写真で紹介したすみれの入門書。265品種と育て方が紹介されている。
	田淵 誠也	栃の葉書房	1996.4			
8 ▲	信州のスマレ					信州に生息する51種類のスマレの写真を網羅している。撮影日と地名が記載されている。
	今井 建樹 伊東 昭介	ほおずき書籍	2004.4			
9 ▲	花の旅「スマレ」					北は北海道から南は熊本のスマレの名所23コースをガイドマップとともにスマレの写真が掲載されている。ハイキングしながらスマレを楽しみたい方必見です。
		北隆館	1993.2			
10 ▲	スマレ事典					日本のスマレの基本種61、交配種(自然交配:28種類、人工交配15種類)、外国種12種類の写真と特徴が記載されている。
	三木 順一	月刊さつき 研究社	1984.5			

○本や雑誌などに関する相談がありましたら、お気軽にカウンターまでお問い合わせください。
(お問い合わせの際は資料No.をお伝えいただくとスムーズです。)

豊橋市図書館「知の伝道師」

募集ページ



豊橋市図書館では、18歳以上の豊橋・東三河地域に関わるか方で、「知識」や「情報」の発信を通して地域貢献したいと考え活動していただける個人や企業、団体等を「知の伝道師」として募集しています。
詳しくは、図書館ホームページをご覧ください。

